



石西通信

練馬区立石神井西小学校

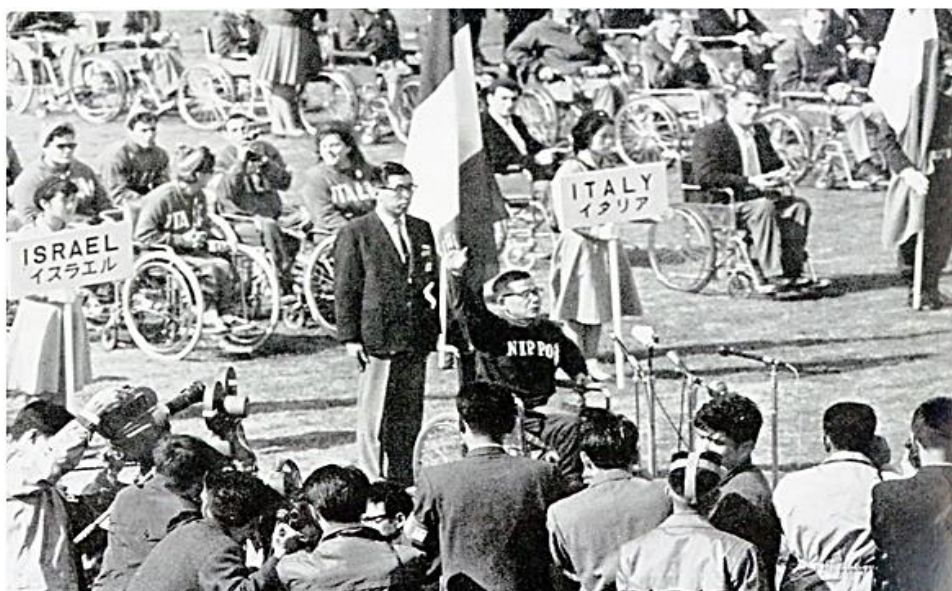
学校通信 9月号

令和6年9月2日発行

パラリンピック考



校長 青山 直志



1964年東京パラリンピックで選手宣誓を行う青野繁夫さんと中村博士

青野さんは静岡県出身で、師範学校を卒業後、小学校の教師となつた後に従軍します。一九四三年に出征先の中国で腰部に銃撃を受け、両脚に障害を負いました。戦後、教職に戻ることはなく、長期療養を目的として脊髄損傷者を受け入れている箱根療養所に入所、そこから東京パラリンピックに出場し、水泳とフェンシングの二種目で銀メダルを獲得しました。

平和の祭典であるはずのオリンピックがこれまで、国際紛争の影響を受けることがあったように、パラリンピックもまた、戦争と密接に結びついています。一九四八年、医師ルードウィヒ・グットマン博士の提唱によって、ロンドン郊外のストーク・マンデビル病院内で開かれたアーチェリーの競技大会、これがパラリンピックの起源ですが、第二次世界大戦で主

編 車椅子テニス No.30 のスメのくじ

に脊髄を損傷した兵士たちのリハビリの一環として行われたものなのです。また、グットマン博士はユダヤ系出身のドイツ人であり、迫害から逃れイギリスへ移住した後、苦難の人生を送る人々のリハビリへの強い情熱を結晶させたという訳です。

この大会は回を重ねストーク・マンデビル大会として一九五二年に国際大会になりましたが、主に脊椎損傷の障害のみが対象であることに変わりはなく、前述の青野さんが出場したのは東京パラリンピックの第一部、国際ストーク・マンデビル大会であり、その他の障害をもつ選手は第二部の国際身体障害者スポーツ大会に出場しました。このようにあらゆる身体障害（視覚・頸髄損傷・切断・脳性まひなど）を対象とする大会を開催できたのはグットマン博士のもとで学んだ日本選手団長の中村裕博士の尽力によるものです。

両下肢麻痺者「Paraplegia」によるオリンピック「Olympic」の造語である「Paralympic」が名称として正式に認められていない東京大会においては愛称として随所で使用されましたが、後に、もうひとつ「Parallel」のオリンピック「Olympic」として正式な名称となったことは皆さんもご存知のことと思います。



パラリンピック・国際身体障害者スポーツ大会

現地28日に華々しく開会したパリ2024パラリンピックですが課題もあります。聴覚障害者のデフリンピックとは感情的しこりが残ります。また、選手たちが競技の場で見せる超人的なパフォーマンスが、障害をもつ一般の人々の日常生活に対する無理解に繋がることもあります。例えば、野球をやっている健常者に大谷選手のようになれ！なれないのは努力が足りないからだと言ってしまうような類のことです。

テレビ中継で、または報道番組でパラスポーツを観る機会が増えると思いますが、純粹にスポーツとして、その研鑽に一生を捧げたアスリートに対するリスパクトの念をもって、本校の子供たちには競技を観戦してほしいと思います。開会式で旗手を務めた水泳の西田杏選手、YouTube Channel じがくのススメでも取り上げた車椅子テニスの小田凱人選手、私は注目しています。

9月の予定		
1	日	
2	月	【B時程】4時間授業 始業式<完全下校 12:25>
3	火	給食始 5時間授業 委員会(6校時) 発育測定(6)
4	水	発育測定(5,わ)【まなスベ】
5	木	図書集会 発育測定(2,4) 造形指導(わ)AM
6	金	発育測定(1,3) 宿泊学習保護者説明会(わ)
7	土	
8	日	
9	月	読書旬間(~30日)
10	火	
11	水	移動教室説明会(5)
12	木	
13	金	
14	土	【B時程】土曜授業日(2,3校時公開) 区・一斉防災訓練(引き渡し訓練 4校時)
15	日	
16	月	敬老の日
17	火	
18	水	歯科(全)8:45【まなスベ】
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	秋分の日
23	月	休日
24	火	
25	水	4時間授業
26	木	【B時程】(1,2校時のみ) ジャクニーシー③
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	委員会⑥

石西お米プロジェクト

5年生

総合的な学習の時間で、5年生はお米を育てています。5月には、手を泥だらけにしなが、土に栄養を混ぜる代掻きを行い、苗を丁寧に植えていきました。夏休みには、自分たちで登校する日を決めて、毎日水をあげ、その成長を見守っています。9月になり、初めは15センチ程だった苗も、70センチ程まで伸びてきました。おいしいお米ができるようにこれからも成長を見守っていきます。

読書旬間について

本校では、年間を通して火曜日に「朝読書」に取り組んでいます。子供たちがさらにたくさんの本に出会い、読書に親しめるように、9月9日(月)~30日(月)の3週間を「読書旬間」とします。この期間は、図書委員会による図書集会や教員による読み聞かせなど、子供たちが読書に興味をもてるような活動を計画しています。さらに、昨年度同様、「親子読書」を行います。おうちの方からお子様へ、お子様からおうちの方へ読み聞かせをしたり、同じ本を読んで感想を話し合ったり、家族と一緒に読書を楽しんでいただければと思います。

校内研究について

本校の今年度の校内研究の主題は、「自ら学ぶ意欲を持ち、学びを深める児童の育成~『探求的な学び』の視点を取り入れた授業改善を通して~」です。子ども達が自ら課題を見つけて探求し、様々な視点をもって学びを深める力を育むことを目指しています。そのために、『探求的な学び』について教員も学び、考え、授業改善を図り、協議を重ねながら研究を進めていきます。

お知らせ

副校長

・9月14日(土) 4時間目に引き渡し訓練を行います。

相談室より(SC・心のふれあい相談員)

SC(スクールカウンセラー) 9:30~16:30

9日(月)、18日(水)、25日(水)、30日(月)

心のふれあい相談員

9:00~15:30

5日(木)、6日(金)、12日(木)、13日(金)、
19日(木)、20日(金)、26日(木)、27日(金)

【予約専用電話:090-7197-4292】

9月の生活目標「たくましい心と体をつくろう」 ★引き渡し訓練あり

- すすんであいさつをしよう
- 生活のリズムを取りもどそう
- 晴れた日は外で元気に遊ぼう
- 学習の準備をきちんとしよう
- うがいや手洗い、汗の始末をしっかりとやろう

